

| | | | | | | | |
|---------------|--|--|----|-----|-----|------|----|
| 科目名 | 栄養指導実習Ⅱ | | | | | | |
| Course Name | Nutrition Education Practice Ⅱ | | | | | | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 1単位 | 授業形態 | 実習 |
| 担当者氏名 | 駒場啓子 | | | | | | |
| 連絡先(質問等) | 社会福祉棟2階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(栄養士資格必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP2 DP3 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>栄養教育・栄養指導の基礎となる栄養情報を理解するとともに、ライフステージ・ライフスタイル別の個人指導や集団指導の実施方法を、各自のテーマにそって企画案から指導の展開、評価までを具体的に学習する。</p> <p>①栄養指導論等の講義によって得た知識と栄養指導技術を基礎として、栄養指導の実施に必要な知識および技能を実習により習得することができる。</p> <p>②栄養指導論で習得した学問的知識を単なる知識として終わらせることなく、栄養教育・栄養指導の場に臨んで実践的に活用・展開ができるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 「プレゼンテーションによる指導」「食育教材の作製」「食育掲示資料の作製」はグループによる実習。グループ討議や発表、レポート提出を実施する。「対象者別の栄養指導計画」では、習得した知識や技能を活用し、栄養教育・栄養指導の実践力を身に付ける。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育マネジメントシステム、すなわち栄養スクリーニング、栄養アセスメント、目標設定、栄養教育指導計画、栄養教育指導実施、評価、フィードバックの一連の過程を習得することができる。 ・個人及び集団における、実際に応じた栄養指導計画の立案と実施、評価の基本的な方法について、実習を通じて体得することができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 発表や食育教材作成では、それぞれの終了後に改善点等をフィードバックする。「対象者別栄養指導計画」では授業内に改善点等を各自にフィードバックする。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | <p>参考図書：「栄養指導論」(相川リゑ子編著・建帛社)「すぐわかる栄養指導実習」(田中ひさよ、熊谷秀子著・萌分書林) 1年次使用教科書</p> <p>参考資料：「日本人の食事摂取基準(2020年版)」厚生労働省</p> | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | <ul style="list-style-type: none"> ●遅刻厳禁 ●授業中の飲食は禁止●携帯電話の使用は禁止 ●授業で示された事前・事後学習を行うこと。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | <p>実務経験 駒場(職種：栄養教諭 職歴：6年)</p> <p>プレゼンテーションによる指導では、栄養教諭として食育関係の講話の経験を生かすことができる。</p> | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | グループ討議の場では積極的に自分の意見を述べる。不明な点があれば積極的に質問する。 | | 10 | | |
| レポート/作品 | Sのレポート(対象者別栄養指導計画)は「目標設定、指導方法が明確であり、実践可能な指導案が立案されていること。指導媒体が丁寧に作成されている。」である。 | | 50 | | |
| 発表 | プレゼンテーションによる発表のSの評価は「対象者が理解できるような内容であること。適切かつ正確な資料を用いていること。誰もが聞き取れるように、明瞭に大きな声で発表する。」である。 | | 30 | | |
| 小テスト | | | | | |

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

| | | | | | |
|------------|---|--|-----|--|--|
| 試験 | | | | | |
| その他 | 食育リーフレットについてのS評価は「一般の人に内容が分かりやすく、かつ丁寧に作られているか」である。食育掲示資料のS評価は「児童・生徒が興味・関心をもつような工夫があり、内容が正確なこと。」である。 | | 10 | | |
| 合 計 | | | 100 | | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | 学習の成果、学習方法、成績評価、授業の諸注意について 3分間スピーチの組み立て方、話し方の要点 |
| | 事前・事後学習 | 3分スピーチの内容について考える。 |
| 2 | 授業内容 | 3分間スピーチの原稿作成、発表、評価) |
| | 事前・事後学習 | 3分間スピーチの自己評価と改善点についてまとめる。 |
| 3 | 授業内容 | プレゼンテーションによる指導 (テーマの設定、指導内容の話合い、情報収集) |
| | 事前・事後学習 | 班活動：発表原稿を作成する。 |
| 4 | 授業内容 | プレゼンテーションによる指導 (発表原稿の作成、発表、評価) |
| | 事前・事後学習 | 班活動：評価を参考に改善点をまとめ提出する。 |
| 5 | 授業内容 | 食育教材（食育リーフレット）の作製（テーマの設定、掲載内容の検討） |
| | 事前・事後学習 | 班活動：食育リーフレットを作製する。 |
| 6 | 授業内容 | 食育教材（食育リーフレット）の作製（発表（展示）・評価） |
| | 事前・事後学習 | 班活動：評価を参考に改善し、提出する。 |
| 7 | 授業内容 | 食育掲示資料（対象小・中学校）の作製（テーマの設定、内容の検討） |
| | 事前・事後学習 | 班活動：食育掲示資料を作製する。 |
| 8 | 授業内容 | 食育掲示資料（対象小・中学校）の作製（発表（展示）・評価） |
| | 事前・事後学習 | 班活動：評価を参考に改善点をまとめ提出する。 |
| 9 | 授業内容 | 対象者別の栄養指導計画の立案（指導対象者の実態把握） |
| | 事前・事後学習 | 指導対象者の決定。実態把握の方法について考える。 |
| 10 | 授業内容 | 対象者別の栄養指導計画の立案（指導目標の設定、指導方法の検討） |
| | 事前・事後学習 | 対象者の実態にそった指導方法を考える。 |

| | | |
|----|----------------|------------------------------------|
| 11 | 授業内容 | 対象者別の栄養指導計画の立案（栄養指導カリキュラム設定） |
| | 事前・事後学習 | 対象者の実態にそったカリキュラムを考える。 |
| 12 | 授業内容 | 対象者別の栄養指導計画の立案（指導案の立案） |
| | 事前・事後学習 | 様々な指導案の例を調べ、適した様式を考える。 |
| 13 | 授業内容 | 対象者別の栄養指導計画の立案（指導教材の作成） |
| | 事前・事後学習 | 指導教材、媒体を作成する。 |
| 14 | 授業内容 | 対象者別の栄養指導計画の立案（班活動：概要発表、討議、改善点の検討） |
| | 事前・事後学習 | 発表準備。 |
| 15 | 授業内容 | 栄養指導計画書を完成する。 |
| | 事前・事後学習 | 改善点から計画書を見直す。 |